

「脱ムダ」で市政を変える！ 市政改革を前へ、前へ
小金井市議会議員／情報公開こがねい

週刊

渡辺大三 NEWS



【会派 NEWS】 2020(令和2)年 9月28日 週刊 vol.58

【ご意見ご要望はお気軽に】 〒184-0012 小金井市中町3-26-15-301

T 090-3345-6929 F 042-381-5074 watanabedaizou@gmail.com

公式サイト daizou.org (Twitter、facebook には公式サイトからアクセスできます)

渡辺大三起草の「予算組替え動議」可決

コロナ対策基金に1億8000万円

賛成17 反対6 市長の無為無策を厳しく指摘

9月25日、小金井市議会は、西岡市長が提出した一般会計補正予算(第6回)に対して、市議会の4会派が「新型コロナウイルス対策への予算措置が不十分だ」として提出した「予算組替え動議」を賛成17 反対6の大差で可決しました。

市長は、可決された組替え動議の内容に即した補正予算(第7回)を提出することを約束。それを踏まえて補正予算(第6回)は全会一致で可決されました。

財調には16億、コロナにゼロ・・・ 市長案に議会が反発

問題の発端は、西岡市長が編成した補正予算(第6回)における新型コロナウイルス感染症対策の不十分さにありました。西岡市長は、前年度繰越金18億円に関して、用途が自由な財政調整基金に16億8000万円を積み立てる一方、新型コロナウイルス対策基金には1円も積み立てないとの内容で補正予算を編成したのです。現下の社会経済状況から考えて、あまりにも「無為無策」です。

これに対して私を含む複数の議員から、今後に向けて、新型コロナウイルス感染症対策基金にも一定額の積み立てをすべきだとの指摘がありました。小金井市の財政調整基金の残高目標は「20億円」とされてきました。本年度末の残高見込みは「45億円」と想定されていますので倍以上であり、基本的には充足しています。そういう状況を踏

まえて、新型コロナウイルス感染症対策のための財源を用意することを議会側が求めたのです。

私は、当初、市長が財政調整基金に積み立てるとした16億8000万円のうち、5億円を新型コロナウイルス感染症対策基金積み立てることを模索しました。そして各会派に「予算組替え動議」の提出を呼びかけました。

金額等について調整の結果、最終的に、情報公開こがねい、公明党、共産党、市民カエル、の4会派共同で、「新型コロナウイルス感染症対策基金に1億8000万円を積み立てる」との予算組替え動議を提出しました。1億8000万円の根拠は、前年度繰越金18億円の10%としたものです。



予算組替え動議の提案理由を説明する4会派。演壇に立って説明する渡辺大三。右端は西岡市長。(9月25日 本会議)。

9月25日の本会議では、私どもが提出した予算組み替え動議が賛成17反対6の大差で可決されました。

◎ 予算組替え動議に賛成した議員

情報公開こがねい(渡辺大三)自民党信頼(遠藤・湯沢・吹春・清水)公明党(宮下・紀・渡辺ふき子・小林)共産党(板倉・水上・たゆ)こがおも(白井・水谷)市民会議(齊藤)ネット(田頭)市民カエル(片山)

✕ 予算組替え動議に反対した議員

みらいのこがねい(鈴木・村山・岸田・沖浦)改革連合(篠原)緑つながる(坂井)

予算組替え動議の可決を踏まえ、西岡市長は、組替え動議の内容に即した補正予算(第7回)を提出することを本会議で約束。それを踏まえて、補正予算(第6回)は全会一致で可決されました。

このように、市長の無為無策を見て見ないふりするのではなく、また市長からの提案を無批判に受け入れるのではなく、市民目線でチェックして、時には議案提案権を行使してでも是正を求めていくのが議会の本来の仕事です。市長のメンツを優先して、市民の利益に背を向けるなどは論外です。私は、今後もチェック機関としての役割を果たしていきたいと思います。

奨学金増額条例は逆転否決 賛成10 反対13の僅差

情報公開こがねい、共産党、ネット、市民カエルの4会派が共同で提出した「奨学金増額条例案」は、9月11日の厚生文教委員会では可決されましたが、25日の本会議で「逆転否決」となっていました。大変残念です。

新型コロナウイルス感染症は学生の皆さんの生活にも多大な影響を与えており、同条例案の内容は、①高校生及び高等専門学校生(1～3学年)の奨学金を「月額5300円以内」から「月額1万2000円以内」に引き上げる、②大学生及び高等専門学校生(4、5学年)の奨学金を「月額1万2200円以内」から「月額2万円以内」に引き上げる、の2点でした。

◎ 奨学金増額条例案に賛成した議員

情報公開こがねい(渡辺大三)共産党(板倉・水上・たゆ)こがおも(白井・水谷)市民会議(齊藤)

ネット(田頭)市民カエル(片山)緑つながる(坂井)

✕ 奨学金増額条例案に反対した議員

自民党信頼(遠藤・湯沢・吹春・清水)公明党(宮下・紀・渡辺ふき子・小林)みらいのこがねい(鈴木・村山・岸田・沖浦)改革連合(篠原)

「期日前投票所の増設を」 陳情書を全会一致で採択

9月25日、小金井市議会は、市民団体(こがねい情報公開市民会議・高木章成事務局長)が提出した「期日前投票所の増設を求める陳情書」を全会一致で採択しました。陳情事項は、①次期市議選から坂下地域に期日前投票所を設置すること、②庁舎移転後は貫井北町地域センターへの設置も検討すること、などでした。

小金井市の期日前投票所は、従来は第二庁舎だけでしたが、私の議会での要望等を踏まえて、東部地域に第二の期日前投票所(マロンホール)が増設され、今日に至っています。坂下地域は、坂上の期日前投票所に行く困難性がある地域でもあり、早急に設置すべきだと思います。

◆渡辺大三略歴◆

1966年5月2日、岩手県水沢市(現:奥州市)生まれ。秋田県横手市、宮城県仙台市、山形県山形市を経て、9歳から小金井市在住。小金井市立本町小学校・小金井市立小金井第一中学校(桜町)、東京都立小金井北高等学校(緑町)、中央大学法学部を卒業。株式会社河北新報社(本社:仙台市)に就職し、新聞記者。衆議院議員秘書を経て、男性最年少の26歳で小金井市議選初当選(以降7期連続当選/最近4回の選挙はいずれも無所属で立候補)。市政において「脱ムダ改革」を進める。

【現在】小金井市の地域政党「情報公開こがねい」共同代表。東京の地域政党「自由を守る会」幹事長。小金井市商工会参与。貫井北町商工振興会事務局長。中町親愛会相談役。中央大学学生会小金井支部副支部長。小金井北高等学校同窓会幹事長。

「週刊渡辺大三 NEWS」資金カンパのお願い

いつもお読みいただきありがとうございます。「週刊渡辺大三 NEWS」をより多くの皆様にお読みいただきたく、増刷のための資金カンパをお願いしています。ご事情が許せばご協力お願い申し上げます。お手数をおかけして恐縮です。

みずほ銀行 小金井支店 普通 1414875
口座名 情報公開こがねい

※領収証をお送りしたいので、お振込み後、お名前、ご住所をお知らせいただけると幸いです。

※外国籍の方、未成年の方からはお受けしていません。